県西部地域で牛のヨーネ病検査が開始されました

下関農林事務所畜産部
平成23年６月24日

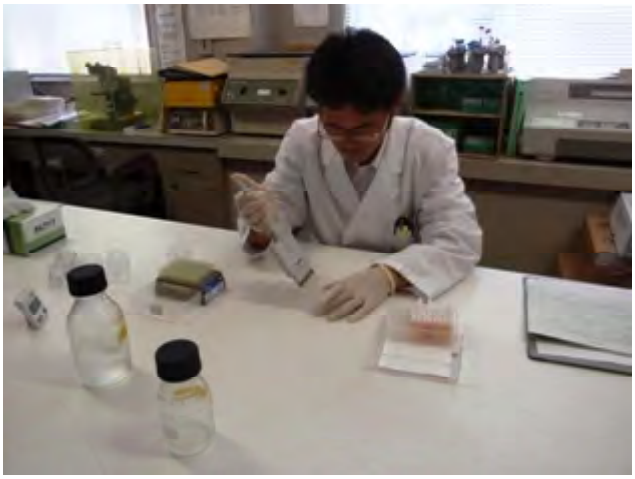
本病は牛やめん羊、山羊などの反芻動物に好発する家畜伝染病の一種で、感染原因のヨーネ菌が経口感染することにより、動物は頑固な下痢を発症し、痩せ細る完治困難な病気です。

本病は現在、全国において多発していることから注意が必要な病気とされています。

当地域においても平成18～19年度、乳用牛において多発し、畜産物の安全性確保の面から当所では畜産農家さんや関係者の皆様方と協力し本病撲滅に力を注いできました。

その結果、平成22年３月10日の抗体検査陰性をもってヨーネ病清浄地域となりましたが、引き続き清浄化維持のために本年 6月より定期検査を開始しました。

今後も、本病の侵入防止と早期発見に努めてまいります。



抗体検査状況